

## 調査結果について

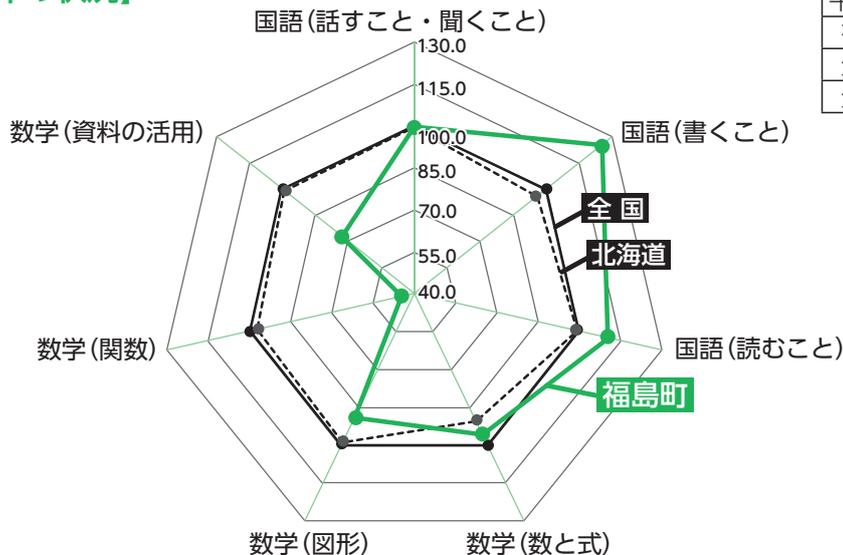
小学校では国語が全道・全国平均と同じで、算数は全国平均を上回る結果となりました。一方、中学校では国語が全道・全国平均を上回る結果でしたが、数学は全道・全国平均を大幅に下回る結果でした。

小学校では日常の読書活動に取り組むことが重要であり、中学校では数学の関数などの応用的な問題の学習を進める必要があります。

家庭での学習も重要となりますので、家庭・学校・教育委員会が一体となって学力向上に取り組ましましょう。

### 中学校の状況及び学力向上策（中学校数：1校、生徒数：12人）

#### 【教科全体の状況】

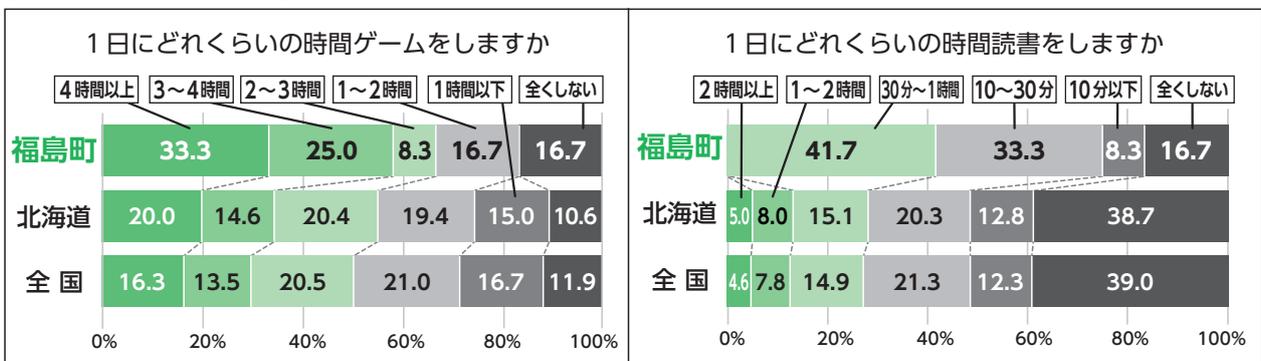


平均正答率	国語	数学
福島町	71	41
全道平均	69	49
全国平均	69.0	51.4

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（福島町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語は全道・全国よりも正答率が非常に高く、大変すばらしい結果でした。</li> <li>目的に応じて自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書いたり表現を工夫する授業を進めたことにより、「書くこと」の領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられます。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学は全道・全国と比較して大幅に正答率が低くなりました。</li> <li>「関数」の領域に課題があり、表やグラフから必要な情報を読み取ることや、数の変化の割合などについて理解を深められる学習に取り組めます。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 生徒が主体的に学び、意欲的に学習に参加することができる授業づくりに取り組めます。</li> <li>◎ 基礎・基本の定着への取り組みや学力向上習慣の取り組みを継続して行います。</li> <li>◎ ICT機器を有効に活用した授業改善、eライブラリを活用した家庭学習を推進します。</li> </ul>

#### 【生徒質問紙の状況】



- ・福島町で2時間以上ゲームをしている子どもは66%で、全道・全国よりも10～15%程度多い結果でした。
- ・福島町で読書時間が10分以下という子どもは25%でしたが、全道・全国よりも約25%少ない結果でした。国語の結果が良かったのは、本を読む生徒が多いことが原因かもしれません。